

みんなでつくるばんどう未来ビジョン

各種政策に取り組んでいます

安全・安心、高齢者支援

日本では現在、高齢人口の急速な増加の中、近年の想定外といわれる大規模災害から高齢者を保護する取り組みが必要とされています。坂東市においては、誰もが安全安心に暮らすことができるまちを目指し、防災・防犯対策や高齢者福祉、公共交通などの充実を図るため、さまざまな施策に取り組んでいます。

●主な取り組み

防災・防犯対策の充実

昨年3月に、**坂東市総合防災マップ**を新たに作成し、各戸に配布しました。さらに4月から交通防災課に「**防災危機管理室**」を設置し、市民のみなさんの安全安心な暮らしのため、大規模自然災害などへの対応や防災・減災対策を行っています。

また、6月からは、市が設置した**防犯灯の電気料はすべて市が負担**しています。平成22年度より新規に設置した防犯灯の電気料は地域の負担となっていました。市内全域の防犯体制の強化と地域の負担軽減を図るために行っています。



令和元年度 坂東市防災訓練

認知症支援の充実



認知症は早期に発見し、適切な治療やケアを行うことで、症状の緩和や改善を図ることができます。市では、**専門職による「認知症初期集中支援チーム」**が、認知症の方やそのご家族を**医療と介護の両面から支援**し、適切なサービスにつなげていきます。今後も、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、高齢者福祉の充実を図ります。

「もしかして認知症？」と思ったら、お気軽にご相談ください。

■お問合せ 介護福祉課 ☎0297(21)2193

◀認知症ケアパス：利用できるサービスなどをまとめたガイドブック

デマンドタクシーの市外運行

昨年4月から**坂東市デマンドタクシー「らくらく」**のきぬ医師会病院、茨城西南医療センター病院への運行を開始しました。

これまで、市内において自宅から目的地まで送迎する乗合タクシーとして運行してきましたが、高齢者の方などの市外医療機関への移動手段のご要望に応えるため、市外便として2病院への運行事業を実施しています。料金(片道)は市内300円、市外1,200円です。



免許を取ってから50年以上運転していました。ずっとゴールド免許だったので、随分迷いましたが、10月に思い切って運転免許証を返納しました。高齢者の事故のニュースを見ると返納してよかったとも思います。

11月末、西南医療センター病院に行ったとき、はじめてデマンドタクシーを使いました。とても助かりました。



間中弘さん

▼「キャッシュカードを預かります」「暗証番号を教えてください」と言われたら詐欺です